

まもる・つくる・つかう 淡路さわやか県土

お問い合わせ：淡路県民局
洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋 2 丁目 4-5
TEL. 0799-26-2055 FAX. 0799-24-4513
URL : http://web.pref.hyogo.jp/sumotodoboku/index.html
e-mail : sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行：平成24(2012)年5月25日

春号
spring
VOL.23

水害からまもる！

平成16年の台風第23号で被害を受けた洲本川水系の河川改修工事がこの春全て完了しました。災害発生から復興までの道のりを紹介します。

マップ① 平成16年災害からの復興!! 洲本川水系河川改修事業の完了

平成16年10月20日大阪湾を通過した台風第23号は、洲本川流域に総雨量372mmの豪雨を降らせ、観測史上最大となる洪水をもたらしました。洲本川の水位が桑間水位計の観測可能な範囲を超えるなど、各河川で水位が上昇し、川からの溢水や堤防の決壊などにより、洲本川流域は広範囲に浸水しました。この豪雨により、洲本川流域では死者5名、床上、床下浸水家屋3,496戸に加え国道28号をはじめとした道路の冠水、橋梁流出など甚大な被害が発生しました。

県では、二度とこのような災害を繰り返さないように、洲本川等7河川で抜本的な改修事業(延長16.6km、総事業費約250億円)を実施してきました。具体的には台風第23号と同等の豪雨による洪水でも安全に流れるよう、河底を掘り下げ、河幅を広げ、堤防を新たに築き、橋を架け替えるなどの工事を行いました。

平成16年12月の事業着手から、平成19年には猪鼻川、鮎屋川、奥畑川の改良復旧事業(延長約6.6km)が完了し、激特事業では、千草川、巽川、樋野川と支川から順に河道整備を完了してきました。また、工事の節目には、橋梁渡り初めなどのイベントも開催し地元の皆様と共に工事を進めてきました。

そして、今年の3月26日に、最後の架替橋梁となった新加茂橋(洲本市下加茂・桑間)と巽川橋(洲本市下加茂)が開通し、同27日には、最後の井堰改築となった流域最大規模の桑間井堰(洲本市桑間・上内膳)の完成引き継ぎ式を、田主(たず)の皆様とともに執り行い、災害から7年半にわたる河川改修工事が完了しました。

《それでも水害はやってくる!》

洲本川水系では、この度の河川改修工事で水害への備えは充実しました。しかし、近年は想定を超える局地的な豪雨が頻発しています。淡路島でも昨年9月に、台風第12号、15号により土木施設、農業施設に大きな被害が発生しました。洲本土木事務所では河川改修工事などハード整備を推進するとともに、危険情報の提供などのソフト対策を進め、島民の皆さんの安全・安心の確保に引き続き努めていきます。



河川名	事業名	場所	延長	事業費	工事概要
洲本川外4河川	河川激甚災害対策特別緊急事業	洲本市納～洲本市塩屋ほか	10.0km	約227億円	河床掘削、護岸整備、橋梁架替16橋、堰改築等4箇所等
奥畑川	河川災害復旧助成事業	洲本市上内膳	1.66km	約11億円	護岸整備、橋梁架替3橋等
鮎屋川	河川災害関連事業	南あわじ市広田～洲本市鮎屋	1.34km	約7億円	護岸整備、橋梁架替1橋等
猪鼻川	河川災害関連事業	洲本市千草	3.63km	約9億円	護岸整備、橋梁架替1橋等

① 河川災害復旧助成事業奥畑川・H19.10完成(洲本市上内膳、納)



これから暑くなるね！
今年は電力不足が心配ですね。
皆さんも節電に努めて下さいね。!



はばたん

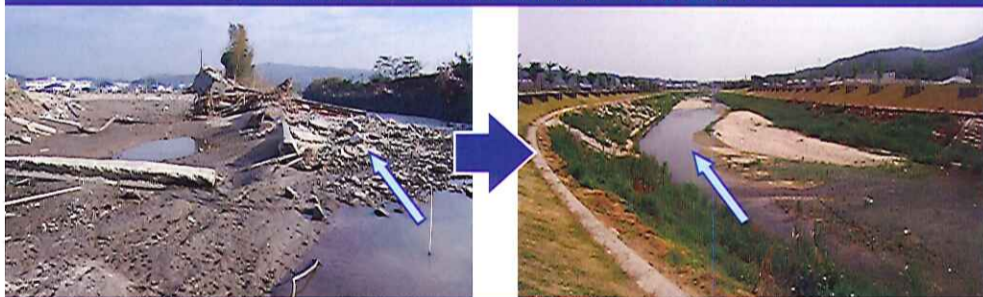
季刊紙「淡路さわやか県土」は、淡路県民局洲本土木事務所で行っている事業やまちづくりを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。

洲本土木事務所が行っている事業やまちづくりを中心にお伝えすると共に、淡路島の風土資産も交えて編集したいと思っていますのでよろしくお祈りします。



洲本川水系 河川激特災害対策特別緊急事業の主たる箇所の着手前・完成状況

② 洲本川:H24.3完成(洲本市下内膳、桑間)



③ 巽川:H22.3完成(洲本市下加茂)



④ 樋野川:H23.5完成(洲本市物部)



⑤ 洲本川(新加茂橋):H24.3(供用開始)(洲本市下加茂・桑間)



マップ②

洲本川 住民とつくるふれあい川づくり

トピックス

洲本川レガッタ開催決定!



洲本川レガッタ 平成23年11月の様子

改修を終えた洲本川河口部で「平成16年災害からの復興」を記念し、平成23年11月13日に、洲本市内の高等学校3校のボート部による洲本川レガッタを開催しました。

今年も9月9日(日)開催を予定しています。復興した洲本川の魅力を再発見し、ふるさとの川をいつまでも大切にいただくとともに、市民スポーツとして継続的に開催されるイベントになればと思っています。



日程：平成24年9月9日(日)開催予定
場所：洲本川(潮橋→洲浜橋)
内容：ナックルフォア等、数レース
参加チーム：洲本高校ボート部
洲本実業高校ボート部
柳学園ボート部 ほか

第1回淡路島景観フォトコンテスト入賞作品の紹介!



最優秀賞「輝く海」久留米 敏仁氏
(撮影場所:洲本市由良成ヶ島展望所)

島の宝と言える淡路島らしい魅力ある景観を未来に引き継ぐため、洲本土木事務所では「淡路島景観づくり運動」を推進しています。

その取組の一つとして平成23年度に「第1回淡路島景観フォトコンテスト」を開催したところ、**たくさんのご応募をいただきありがとうございました。**

今回掲載しております最優秀賞・優秀賞の他、審査員特別賞14作品等、詳しくは、淡路県民局ホームページをご覧ください。

(第1回淡路島景観フォトコンテスト受賞作品一覧

URL:<http://web.pref.hyogo.jp/aw04/keikanphotocon.html>)

淡路島景観フォト 検索

引き続き「第2回淡路島景観フォトコンテスト」を現在開催しています。皆様からの応募をお待ちしています。また、今年は「淡路島百景候補」についても現在募集していますので、どしどしご応募下さい。



優秀賞「水かけ祭り」西橋 弘氏(撮影場所:淡路市仮屋)



優秀賞「おいしいお米に変身中」前川 英治氏(撮影場所:淡路市)



優秀賞「玉ねぎばあちゃん」宮本 誓子氏(撮影場所:洲本市五色町)



優秀賞「周航を待つ舟」竹内 孝広氏(撮影場所:伊弉うずしお村)

第2回 淡路島景観フォトコンテスト募集

淡路島らしい魅力ある景観を多くの人に伝え、島の宝として将来へ守り育てていきたい… そんな写真を募集します。

テーマ

「古きと新しきが出会い生みだす美しい島 淡路島」

淡路島には、豊かな「自然」や古くから蓄積されてきた「歴史」、風土に根ざした「生活・文化」が一体となった景観と、近年の整備や開発によりつくりだされた「新しい」景観が調和して、「地域の表情」を写しだす景観が広がっています。このような「淡路島らしい景観」の魅力が伝わる作品を募集します。

募集作品の例

- 「淡路島らしい景観」
淡路島特有の自然、歴史、生活・文化を感じさせる景観。また、環境立島「公園島淡路」に調和している新しくつくりだされた景観
- 「淡路島の四季」
淡路島の豊かな四季を感じさせる景観
- 「こどもたちが撮る淡路島」
こどもたちの視点からみた「私たちの好きな」淡路島の景観

各賞

- 最優秀賞………1点
- 優秀賞………数点
- 審査員特別賞………数点

第2回募集期間

平成24年8月31日(金)まで
当日消印有効

詳しくは、第2回淡路島景観フォトコンテストポスター・チラシまたは淡路県民局ホームページをご覧ください。

URL: <http://web.pref.hyogo.jp/aw04/keikanphotocon.html>

淡路島景観フォト

検索

淡路島百景候補の募集

淡路島の美しい景観を守り・伝え・育てる「景観づくり」の一環として、「淡路島百景」を選定します。皆さんが淡路島百景候補として推薦する景観を教えてください。

「淡路島百景」とは

県民が生活の中で守り、育てていきたいと感じる景観や、淡路島らしいと感じる100の景観です。

「淡路島百景」の選定にあたり、県民の皆様から候補となる景観を募集します。

対象となる景観

- 将来へ守り、育てていきたい景観として愛着や誇りをもたれ、かつ大切に育てられてきた景観
- 公開されているか、外部から望見できる景観
- 地域の自然、歴史、生活・文化の特性があり、地域を象徴する景観
又は、周辺環境との調和に配慮してつくられた新しい景観

応募方法

下記のホームページから淡路島百景候補の募集ページにアクセスし、必要事項をご記入下さい。

URL: <http://web.pref.hyogo.jp/aw04/keikanhyakkei.html>

淡路島百景候補の募集

検索

募集期間

平成24年8月31日(金)まで

マップ③ 風土資産 ～源平ゆかりの地 淡路島～ 南あわじ市福良湾に浮かぶ煙島(けむりじま)～

NHKで現在大河ドラマ「平清盛」が放送されています。その平家にまつわる源平ゆかりの地として、南あわじ市福良湾に浮かぶ煙島を紹介します。
平敦盛(たいらのあつもり・清盛の甥)は、1184(寿永3)年2月、平家一門として一ノ谷の戦いに参加しました。源氏側(源義経の鶴越(ひよどりごえ))の奇襲を受け、平家側が劣勢になると、敦盛は騎馬で海上の船に逃げようとした。それを、敵将を探していた熊谷直実(くまがいなおさね)が「敵に後ろを見せるのは卑怯でありましよう、お戻りなされ」と呼び止めます。敦盛が返すと、直実は敦盛を馬から組み落とし、首を取ろうとした。しかし、我が子直家と同じ年頃の美しい若者の顔を見て躊躇します。直実は敦盛を助けようとするが、敦盛は「お前のためには良い敵だ、名乗らずとも首を取って人に尋ねよ。すみやかに首を取れ」と答えました。直実はわが子と同じ年ごろの青年に哀れを感じ、涙ながらに敦盛の首を打ち落としました。その若武者が平清盛の弟経盛(つねもり)の末子敦盛であることを知った直実は、屋島へ向かう途中、福良湾に仮泊している経盛の所へ、首と敦盛が腰にさしていた横笛を届けさせます。経盛は悲しみのうちに、「煙島」で息子の首を茶毘(だび)に付しました。その煙が立ち上がったことから、島の名がつけられたといわれています。現在煙島には、敵島神社がまつられており、頂上の境内には敦盛の首塚だという石の祠があるほか、最勝王経の一字一字を刻んだ石を埋めたという最勝王経碑(さいしょうおうきょうひ)があります。更に社殿の横には、安徳天皇が7日間滞在したと伝わる行在所(あんざいしよ)跡があります。
(源平ゆかりの地:「源平合戦」で平家一党が須磨から淡路を経て、阿波・讃岐へのがれる道筋の中での淡路島にゆかりのある地のことです。
茶毘(だび)に付(ふ)し:茶毘というのは仏教用語で、火葬することです。
首塚(くびづか):合戦などにおいて討ち取られた者の首を供養するための祠(ほこら)や塔、碑などの事です。



神戸淡路鳴門自動車道淡路島南ICから、県道25号線を南下し、車で約20分



煙島 写真(財)淡路くにうみ協会提供



敵に後ろを見せるのは卑怯でありましよう、お戻りなされ
取って返す敦盛

『一ノ谷合戦図屏風』波際を敗走する平敦盛を呼び止める熊谷直実

まもる・つくる・つかう 淡路さわやか県土

お問い合わせ：淡路県民局
洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋 2 丁目 4-5
TEL. 0799-26-2055 FAX. 0799-24-4513
URL : <http://web.pref.hyogo.jp/sumotodoboku/index.html>
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行：平成24(2012)年8月25日

夏号
summer
VOL.24

良好な海岸環境の保全と創出！

淡路島は周りを海に囲まれ、青い海、白い砂浜と豊かな自然環境に恵まれています。洲本土木事務所ではこれら海辺の自然環境・景観を保全し、失われつつある渚の復元・創出に取り組んでいます。

ロンドンオリンピックは史上最多の38個のメダルを獲得したね！選手の皆さん感動をありがとう！



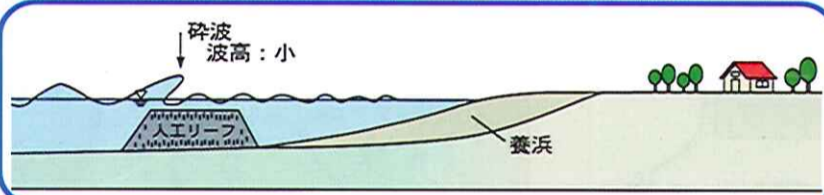
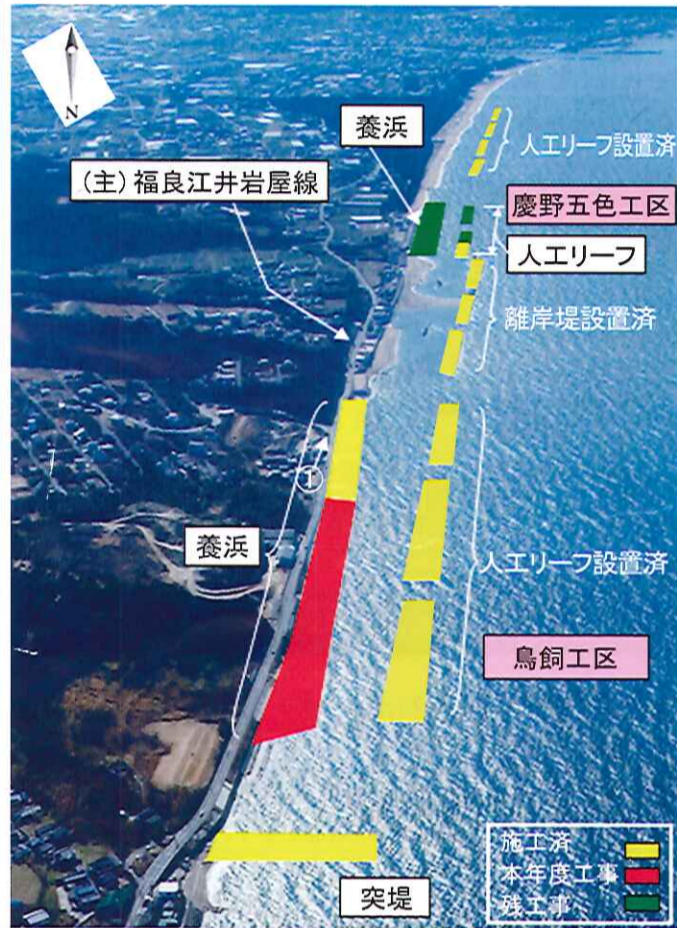
マップ① 五色浜海岸海岸侵食対策事業

海岸侵食の抑止による防災機能の向上を図ります！

五色浜海岸は、日本の白砂青松百選にも選ばれた「慶野松原」が存在し、多くの県民が利用する海岸です。また、背後には民家、事業所があるとともに、当地区の重要な生活道路である主要地方道福良江井岩屋線が通っています。しかし近年海岸線の侵食による砂浜の後退が著しく、冬季風浪及び台風等の高波時には、砂浜による消波効果が減少したため越波が発生していました。その越波により、車輛、学生の自転車通学等交通に支障が出ている他、背後の民家等にも影響を生じていました。

これら越波による道路並びに背後地への影響防止及び海岸侵食の防止を図るため、海岸侵食対策事業を実施しています。これまで、人工リーフ3基等を設置し、ある程度の侵食抑制効果が確認できました。

今後は残りの人工リーフと養浜を施工することにより、五色浜海岸の侵食を防止するとともに、背後地の越波軽減を図ります。



人工リーフって何？
人工リーフとは、自然の珊瑚礁(リーフ)の波を消す機能をまねて浅海域に造成する幅の広い潜堤です。この人工リーフは、海中にあることから海の景観に影響を与えません。また、海岸保全にくわえて、海藻による水質の浄化機能や魚が集まる魚礁機能などが期待されます。

養浜って何？
養浜(ようひん)とは、侵食された海岸に人工的に砂を供給し、砂浜を形成することです。



はばたん

季刊紙「淡路さわやか県土」は、淡路県民局洲本土木事務所で行っている事業やまちづくりを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。

洲本土木事務所が行っている事業やまちづくりを中心にお伝えすると共に、淡路島の風土資産も交えて編集したいと思いますのでよろしくお願いします。

AWAJI ISLAND MAP



マップ② 田之代海岸海岸環境整備事業

水辺空間の環境を保全し海水浴など、レクリエーション機能の向上を図ります！



田之代海岸は、明石海峡大橋や対岸の明石、神戸を望める雄大な景観を有した淡路市を代表する海水浴場です。しかし、明石海峡特有の早い潮流や度重なる台風等の波浪で年々砂浜が侵食され、海水浴利用の減少や、背後の民家へ越波の影響が出るなど問題が生じていました。

これらの課題を解決するため、地域の皆さんと共に「田之代海岸整備計画」を策定し、海岸環境整備事業に取り組んでいます。これまで人工リーフ、突堤、護岸、養浜の整備工事を進めており、残る護岸、養浜等を早期に整備して事業の完了を図る予定です。



マップ③～⑤

海の駅を紹介します～ 海を楽しみ、海を味わい、海に憩う～

海の駅



「海の駅」は、誰でも、気軽に、安心して、楽しめる施設であり、車で陸から、プレジャーボートで海から、どちらからでもアプローチできるマリンレジャー拠点です。来訪者のための一時係留設備(ビジターバース)、トイレ、マリンレジャーに関する情報提供のための施設のほか、ホテルやレストラン等の施設を併設したところもあり、地域観光の足がかりとしても利用されています。『淡路島には、3箇所の海の駅があります。是非一度ご家族そろってお出かけ下さい。』
「海の駅」ホームページ URL : <http://www.umi-eki.jp/>

マップ③ あわじ交流の翼港海の駅



マップ④ すもとサントピア海の駅



マップ⑤ 南あわじみなと海の駅



インフォメーション

プレジャーボート対策について

淡路県民局では“美しく、安全で、いきいきした海岸”を目指し、水辺空間の環境整備のほか、プレジャーボートの適正係留と海難防止を推進しています。

これまでに、プレジャーボート110隻収容可能なボートパークを津名港で整備するなど、放置艇の解消に取り組んでいます。

◇津名港ボートパーク係留へのお問い合わせは
淡路県民局洲本土木事務所
管理第2課 TEL 0799-26-3229

台風シーズンの到来です。大雨による道路通行規制、大雨に備えるダムについて紹介します。



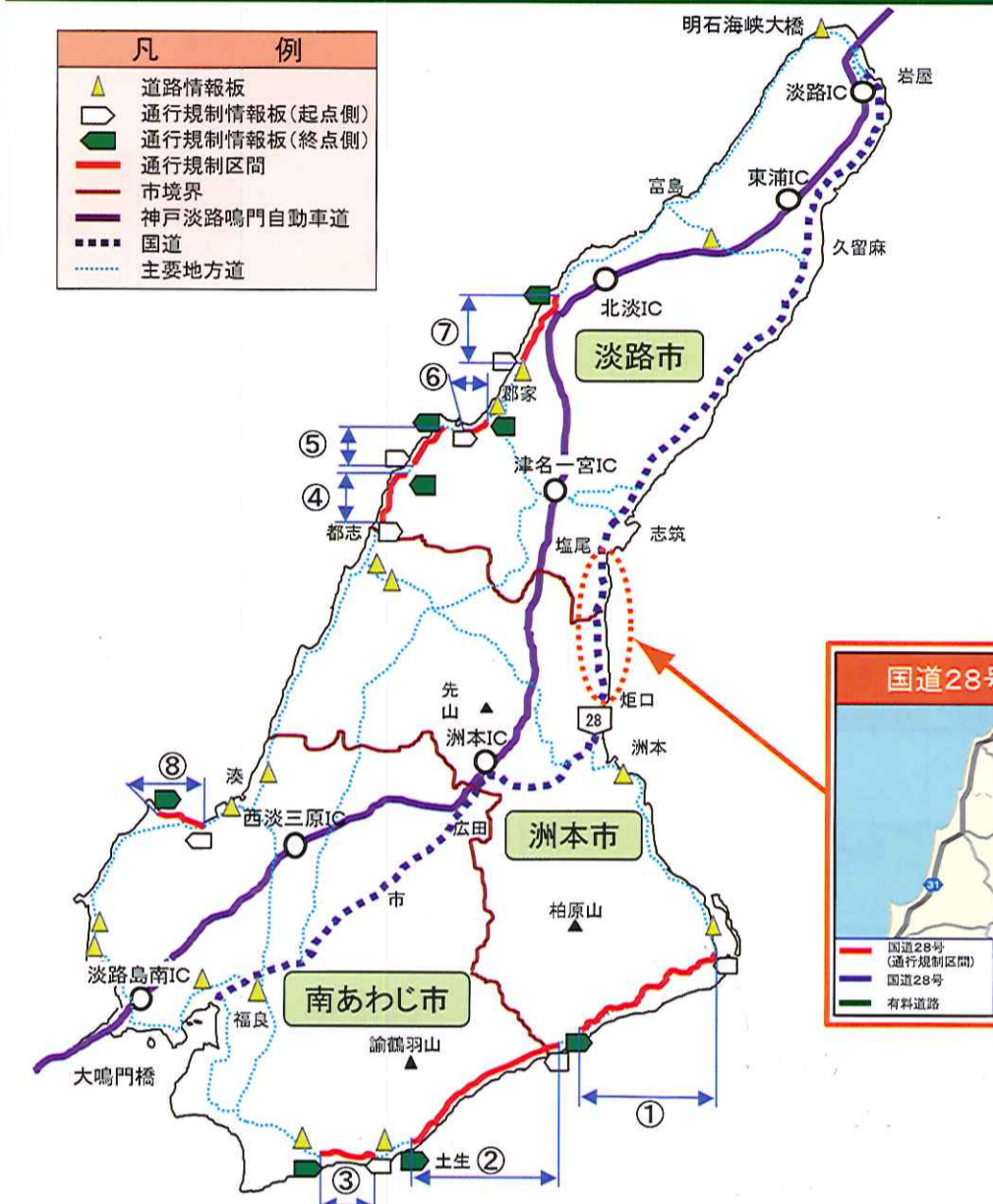
■淡路島の国道、県道の大雨による道路通行規制



雨が降り続けると、土砂崩れや冠水など、道路上での危険が増えます。そこで道路の安全な通行を確保するため、一定の雨量に達したときは、道路通行規制を行います。

現在、島内の通行規制区間は国道で2区間、県道で8区間あります。通行を規制する雨量の基準は区間別に定めています。
※気象、道路状況によって図以外の箇所が通行規制されることがあります。

県道「通行規制」区間図



県道 通行規制区間と規制基準

番号	県道	起点	終点	距離 (km)	※規制基準 (mm)
①	洲本灘賀集線	洲本市 由良生石	～ 洲本市 畑田組	11.0	150
②	洲本灘賀集線	洲本市 畑田組	～ 南あわじ市 灘山本	6.5	150
③	洲本灘賀集線	南あわじ市 灘土生	～ 南あわじ市 灘地野	2.8	150
④	福良江井岩屋線	洲本市 五色町都志	～ 淡路市 明神	2.6	100
⑤	福良江井岩屋線	淡路市 明神	～ 淡路市 江井	2.6	100
⑥	福良江井岩屋線	淡路市 江井	～ 淡路市 郡家	0.8	120
⑦	福良江井岩屋線	淡路市 尾崎	～ 淡路市 室津	1.3	100
⑧	津井津井港線	南あわじ市 湊	～ 南あわじ市 津井	0.7	130

※24時間雨量が表中の数値を超えた場合
通行規制解除の手順
24時間雨量が規制雨量を下回るか、又は降雨停止から3時間が経過すれば、道路パトロールを行い安全を確認をした上で解除します。

お問い合わせ先：淡路県民局洲本土務所 管理第1課
TEL：0799-26-3227(直通) 0799-22-3541(代表)

国道28号「通行規制」区間図



国道28号 通行規制区間と規制基準

規制区間	延長 (km)	規制基準 気象等基準
① 淡路市 塩尾 ～ 洲本市 安平町 平安浦	1.8	連続降雨量が160mmを超えた場合
② 洲本市 中川原町 厚浜 ～ 洲本市 炬口	2.9	連続降雨量が160mmを超えた場合

※雨量計測は国土交通省設置のテレメーターによる
問い合わせ先：国土交通省 兵庫国道事務所 TEL：078-334-1600
洲本維持出張所 TEL：0799-22-1680

《参考》神戸淡路鳴門自動車道の通行止め情報について

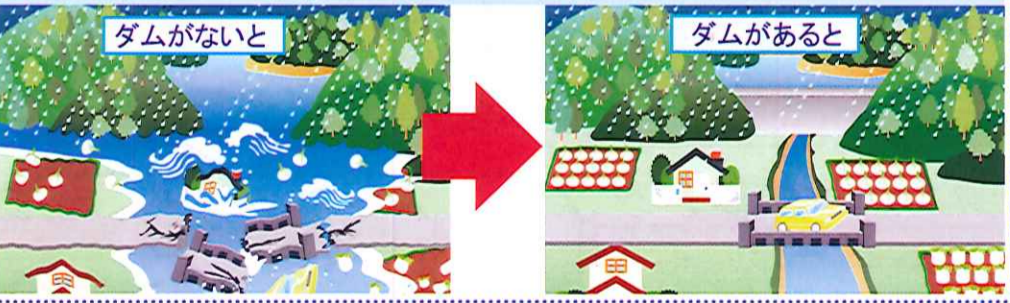
問い合わせ先：
本州四国連絡高速道路(株)お客様窓口：TEL 078-291-1033
ホームページ URL：<http://www.jb-honshi.co.jp>にてご確認をお願いします。



三原川水系5ダム(諭鶴羽、大日、牛内、成相、北富士)の役割

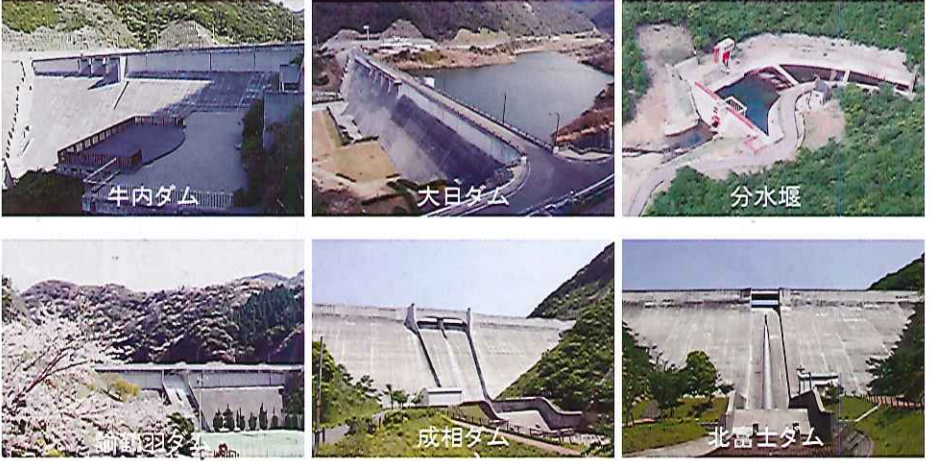
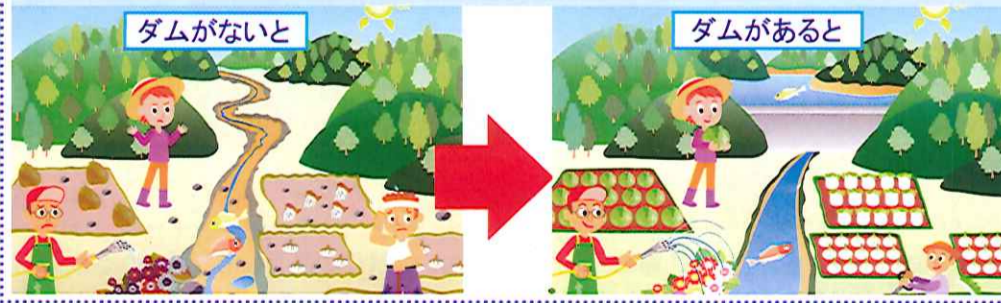
水を治める 【洪水調節】

大雨や台風のと、たくさんの雨が山に降りそのまま川に流れると、川の水が急増え川からあふれたりします。このことを洪水と言います。このときダムがあると、山に降った雨水を一時的に貯めて、少しずつ川に流し洪水をふせぐことができます。これをダムの洪水調節と言います。
三原川水系5ダムの洪水調節は、ダムに開いた穴(オリフィス)で流量を抑制する自然調節式ダムです。



水を活かす 【流水の正常な機能の維持】

淡路島は瀬戸内海気候帯に位置し雨の少ない地域です。雨が降らなくて水が少なくなると、農作物が育たなくなったり、川の魚や動植物が生きていけなくなります。このため、雨が降ったときにダムに水を貯めておき、雨の少ない時期にダムの水を流すことで、農作業等に必要の水を供給したり、また川の生き物たちや自然環境を守ることができます。



【水道用水】

毎日使っている水道の水も、ダムの水をきれいにしてからみんなの家に流しています。水不足による時間給水や断水を解消するため、水道のもとになる水を供給しています。

問い合わせ先：
〒656-0517 南あわじ市賀集生子162-2
三原川水系ダム統合管理所(大日ダム管理所)
TEL 0799-52-2929 FAX 0799-52-2930

まもる・つくる・つかう 淡路さわやか県土

お問い合わせ：淡路県民局
洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL. 0799-26-2055 FAX. 0799-24-4513
URL : <http://web.pref.hyogo.jp/sumotodoboku/index.html>
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行：平成24(2012)年11月25日

秋号
autumn
VOL.25

サイクリングアイランドあわじを目指して!

マナーを守って安全に、快適にサイクリングを楽しもう!



はばタン

洲本土木事務所では、自転車に優しい道路環境をつくろうと、平成23年度にとりまとめた「淡路島サイクリストロードづくり」を推進しています。



サイクリストの注目を集めている淡路島



淡路島は、美しい海を望み、平坦で走りやすい北部と、起伏に富んだ南部を併せ持ち、マニアからビギナーまで広く楽しむことができる人気のサイクリングスポットです。外周道路一周は、「アワいち」と呼ばれ、多くのサイクリストの皆様に親しまれています。



淡路島サイクリストロードづくりとは



淡路島島内を走るサイクリング人気が高まる中、洲本土木事務所では、自転車に優しい道路環境をつくろうと、「淡路島サイクリストロードづくり検討会」を設置し、平成23年度に「淡路島サイクリストロードづくり計画」をとりまとめました。

この計画に基づき、注意サイン、距離標など案内標識の設置や、サイクリング拠点の整備など、早期に実現可能なものから取り組み、サイクリング環境の充実を図ることとしています。計画では、自転車利用を活用して観光や地域の活性化につなげること、これら自転車利用の取り組みをバックアップする体制づくりが必要であることを提案しています。



トピックス

2012ロングライド150



淡路島一周約150kmを自転車で行くサイクリングイベント『2012淡路島ロングライド150』が10月14日に開催されました。3回目の今回は、これまで最多の1,969人が秋空のもと出走し、1,760人が完走しました。北は北海道、南は沖縄まで、全国のサイクリング愛好家が淡路島のコースを満喫し、最高齢完走者は78歳、最年少完走者は12歳でした。



参加者以外にも、多数のボランティアにより支えられたイベントで、はばタンの応援や、タマネギスープなど地元特産品のもてなしもあり、多くの関係者の協力のもと、淡路島全体が、例年を凌ぐ賑わいを見せました。



サイクリストロード注意サインの設置

安全・快適にサイクリングを楽しんでもらえるよう、6種類の注意サインの設置を進めています。



これらの注意サインは、自転車の視点に立った新しい取り組みであり、新聞やケーブルテレビでも紹介されました。



ロングライドに参加し実際にコースを走った皆様を対象に、今回設置した注意サインについて、アンケート調査を行いました。お疲れのところアンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

アンケートの結果、約75%の皆様が、注意サインに興味を持たれ、『役に立つ』『効果がある』との感想をいただきました。また、『もう少し工夫が必要』との貴重なご意見もいただきましたので、今後の取り組みに活かしていきたいと考えています。

今後の展開

今後、より安全、快適に淡路島でのサイクリングを楽しんでもらえるように、外周コースに位置情報を提供する距離標や、一時休憩施設として公共スペースを活用したサイクリング拠点の整備を進めていきます。



距離標



サイクリング拠点



インフォメーション

淡路島サイクリングマップ

ビギナーもマニアも自分にあったコースを選べるように、各サイクリングコースの紹介を行っています。淡路島観光協会のホームページをご覧ください。各公共施設などで入手出来ます。



ドライバーの皆様へ

自転車はふらつきやすい乗り物です。追い抜きは優しくお願いします。

サイクリストの皆様へ

スピードの出し過ぎに注意し左側1列走行を守って下さい。海岸沿いや山沿いでは、路面の落石に十分注意してください。

橋梁の長寿命化

なが〜くつかう「エコ」

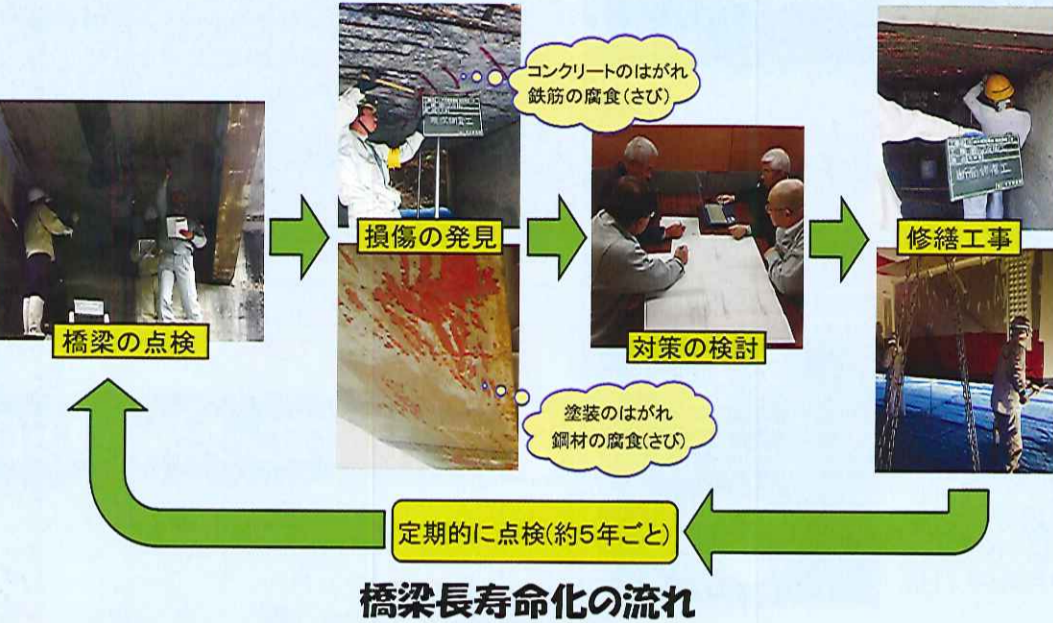


橋梁は、河川や谷などを横断しスムーズに通行するため、道路に無くてはならない構造物です。
兵庫県では、一般的に60年程度といわれる橋梁の寿命を100年まで延ばす、「橋梁の長寿命化」に取り組んでいます。

<橋も年を取ります>

橋梁は、鋼材やコンクリートなどで丈夫に作られています。毎日、通行する自動車の重量を支え、さらに風雨や強い日差しなど厳しい自然環境にさらされる中で、次第に傷んでいきます。特に、海に囲まれた淡路島では、塩分が悪影響を与えています。

淡路島内の県道には、現在約330の橋梁がありますが、その4割以上が、今後10年ほどで建設から50年を迎え、急速に「橋の高齢化」が進みます。



<橋を「長生き」させる>

傷みが激しく、修繕では直らない橋梁は、架替えを行うしかありません。もちろん非常にお金が掛かります。しかし、人間の病気と同じで、症状が軽いうちに治療(=修繕)を行えば、橋も健康を取り戻し、「長生き」(=長寿命化)が出来ます。

<まずは点検>

まずは、橋梁がいまどんな状態にあるのか知るために、「健康診断」をする必要があります。平成19年度から橋梁の点検を順次進めており、今年度中に島内県道全ての橋梁の点検が完了する予定です。

ただし、橋梁も「定期健康診断」が大切なので、今後も継続して点検を行っていきます。

<計画的に修繕を進めていきます>

点検の結果から、対策を行う橋梁の優先順位を決め、計画的に修繕を進めています。まずは、損傷が深刻な10橋について、平成21~23年度にかけて最優先に対策を進め、安全を確保しました。

引き続き、その他の橋梁についても、順次、修繕工事や老朽化予防対策を行い、長寿命化を進めていきます。

省エネの取り組み~道路照明灯のLED化~ ■県下で最も早く、淡路島は県道照明のLED化を完了!

県民のみなさんが節電に取り組むなか、兵庫県では、道路照明の電力消費量を削減するため、灯具のLED(発光ダイオード)化を進めています。県内全域で順次、LED灯具への取り替え作業を進めています。淡路県民局では県下で最も早く、9月末に取り替えが完了しました。

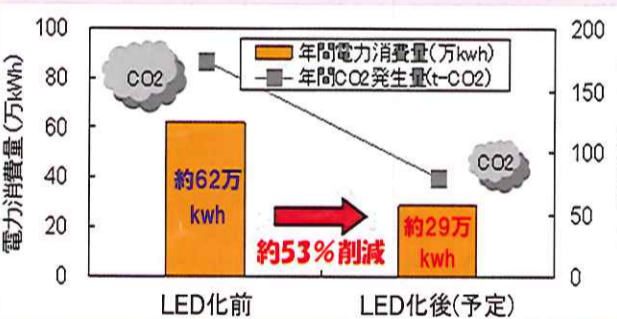
<道路照明の役割>

道路照明は、交差点や横断歩道、急カーブなど道路を通行する時、特に注意の必要な箇所に、夜間でも見やすいように設置しており、交通安全の確保に重要な役割を担っています。

淡路島内には、37路線、延長約430kmの県道があり、約610灯の道路照明灯が設置されています。このうち、特殊なもの(美装化照明など)を除く約560灯について、LED灯具への取り替えを行いました。

<LEDは省エネ!>

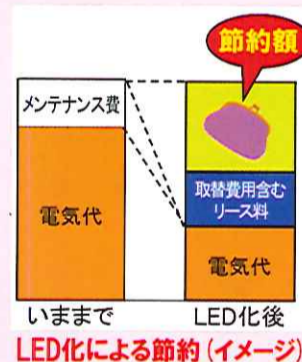
これまでの道路照明は、主に水銀灯や高圧ナトリウム灯が使われていましたが、LED灯具の消費電力は、水銀灯の約1/4、高圧ナトリウム灯の約1/2です。取り替えにより、島内の県道における道路照明灯の電力消費量が、年間で約62万kwhから29万kwhと53%も減少し、70世帯分の削減となります。



なお、LED灯具への取り替え費用を抑えるため、灯具を「買う」のではなく「借りる」、リース方式を採用しました。

兵庫県は今後、リース料を支払うこととなりますが、電気代やメンテナンス費用の削減がリース料を上回るため、島内の県道における道路照明の維持管理費が、年間で約450万円節約されます。

LED道路照明灯の設置状況(淡路市大谷)



【お知らせ】
市街地などの連続照明については、安全に支障のない範囲で、一部を消灯して節電に努めています。ご理解とご協力をお願いします。



淡路・徳島交流イベントの紹介

少年野球を通じて、淡路島と徳島県の子供たちの友情を育み、交流を促進するとともに、一流の選手との触れあいによってスポーツに勤しむ子供達の夢を育てるため、「淡路・徳島交流少年野球大会」及び「阪神タイガース現役選手による少年野球教室」を開催しますので、是非お越し下さい。

淡路・徳島交流少年野球大会



県立淡路佐野運動公園



あわじの食を楽しもう!



イベント内容

- ◎開催日:12月8日(土曜日)
 - ◆淡路・徳島交流少年野球大会
 - 場所:県立淡路佐野運動公園第1・第2野球場
 - 時間:8:45~15:15(予定)(雨天中止)
 - 内容:淡路島と徳島県の各4チームによる交流試合
 - 主催:兵庫県淡路県民局・徳島県 共催:(公財)兵庫県園芸・公園協会 後援:河平会他
- ◎開催日:12月9日(日曜日)
 - ◆阪神タイガース現役選手による少年野球教室
 - 場所:県立淡路佐野運動公園第1野球場(雨天時はアスパ五色雨天練習場)
 - 時間:9:45~15:00(予定)
 - 内容:阪神タイガース他現役選手約10名による野球教室 赤星憲広氏による車椅子贈呈式
 - 主催:河平会(代表河野佳史)・淡路日の出農業協同組合 後援:兵庫県淡路県民局・徳島県他
 - ◆「あわじの食を楽しもう!2012」
 - 会場:県立淡路佐野運動公園第1野球場前(雨天時はアスパ五色体育館前)
 - 時間:10:30~15:00
 - 内容:8団体が参加し、淡路島内の特産物の試食・販売を行うほか、淡路県民局のPRコーナーを設ける
 - 主催:兵庫県淡路県民局 後援:河平会・淡路日の出農業協同組合

問合せ先:淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当 Tel: 0799-26-3221 Fax: 0799-24-4513

まもる・つくる・つかう 淡路さわやか県土

お問い合わせ：淡路県民局
洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL. 0799-26-2055 FAX. 0799-24-4513
URL : http://web.pref.hyogo.jp/sumotodoboku/index.html
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行：平成25(2013)年3月10日

冬号
winter
VOL.26

すく揺れたり、長く揺れる地震が起きた時は、すぐにできるだけ高いところに逃げてね！自分の命は自分で守ろう。



はぼタン

津波防災インフラ整備 5箇年計画の策定

計画策定の趣旨

未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、計画規模を遙かに越える巨大津波によって、沿岸部の市街地が広範囲にわたり水没するなど甚大な被害が発生しました。

このため、国では、東日本大震災の教訓を踏まえ、近い将来発生が懸念される南海トラフ地震について、現時点の最新の科学的知見に基づき、最大クラス(M9)の南海トラフ地震が発生した場合の津波シミュレーションを行い、広域的な津波被害等を公表しました。(平成24年8月)

県では、これまで1854年の安政南海地震(M8.4)による津波を想定し、津波対策を実施してきましたが、南海トラフ地震の発生に伴う、最大クラスの津波への対応として、緊急かつ重要な事業を盛り込んだ「津波防災インフラ整備5箇年計画」を策定し、計画的・重点的に津波対策を推進します。

現在、県では、国の津波シミュレーション結果を踏まえ、県沿岸部の地形条件等を詳細に反映させた県独自のシミュレーションを進めており、最大クラスの津波高の設定等にはしばらく時間が必要です。

しかし、津波対策は喫緊の課題であり、既に緊急かつ重要な防潮堤等の整備を先行して取り組んでいることから、県民の皆様へ津波対策の全体像を早くお伝えし、安心していただくため、この度、津波対策の基本的な考え方や対策内容等を「津波防災インフラ整備5箇年計画(暫定版)」として取りまとめました。

これらの内容や数値は、今後、県独自の詳細な津波シミュレーション等を踏まえ再精査し、確定版としていきます。

想定津波高

県では、発生しうる最大クラスの南海トラフ地震最大クラス(M9)の津波シミュレーションを進めています。県の従来の想定津波高(安政南海地震(M8.4))と平成24年8月に公表された国の想定最大クラス(M9)の想定津波高は表のとおりとなっています。

市名	県による従来の想定 M8.4	国による想定 M9クラス
洲本市	TP+3.94m	TP+6m
南あわじ市	TP+5.80m	TP+9m
淡路市	TP+2.85m	TP+4m

注)津波高は、市内の最も高い津波高を示す。

T P: 東京湾平均海面(Tokyo Peil)の略称で、日本の測量の高さの基準。
防潮堤: 陸地への、津波・高潮の進入を防ぐため、陸地に設ける堤防。
防波堤: 湾内への、津波・波浪の進入を抑えるため、水域に設ける堤防。

計画の基本方針

(1) 発生頻度を踏まえた「2つのレベルの津波」を対象とします。

対象津波	基本的な考え方
レベル1津波対策 (発生頻度が高い津波)	防潮堤等で津波の越流を防ぐ。
レベル2津波対策 (最大クラスの津波)	津波の越流を一部許容するが、防潮堤等のねばり強い構造への改良等により浸水被害を軽減する。合わせて、避難対策等を推進する。

(2) 東日本大震災の教訓等を踏まえ、以下の津波対策に取り組みます。

レベル1津波対策(津波の越流を防ぐ)	
ア) 津波防御対策	(1) 防潮堤等の整備(高さの確保、健全性の保持) (2) 陸間等閉鎖施設の迅速かつ確実閉鎖(自動化・遠隔化・電動化)
イ) 避難支援対策 (レベル2津波にも対応)	(1) 道路等施設利用者の避難支援(道路法面等への階段整備など) (2) 県民へのリアルタイム情報の提供(港内監視カメラ画像など) (3) 防災意識の向上・防災学習の普及(海拔表示シートの設置など)
レベル2津波対策(津波の浸水被害を軽減する)	
ウ) 既存施設強化対策	(1) 防潮堤等の越流対策・引波対策 (越流・引波時にできるだけ壊れにくい構造に補強)
エ) 津波被害軽減対策	(1) 津波越流範囲の縮小(防潮水門の下流への移設) (2) 排水機場の耐水化(機械・電気設備の高所設置等)

(3) 津波対策は概ね10年間で完了します。

1) 津波対策は10年間で概ね完了 (平成35年度まで)

- レベル1津波対策**
防潮堤の整備については、高さの確保(かさ上げ等)や老朽化が著しい箇所の健全性の保持(老朽化対策)を10年間で完了します。
- レベル2津波対策**
防潮堤等の越流・引波対策については、人家連坦部等で越流により浸水被害が想定される箇所を10年間で完了します。
- 重点整備地区**
レベル2津波等により、甚大な浸水被害が想定される地区を「重点整備地区」に設定し、全ての津波対策を10年間で完了します。

表-1 重点整備地区

重点整備地区	浸水被害の状況
淡路島南部地域: 福良港、阿万港、沼島漁港	津波高が著しく高い
西宮地域: 尼崎西宮芦屋港(西宮地区・今津地区)	人口資産が高度に集積する地区が浸水

2) 緊急かつ重要な事業は5年間で完了 (平成30年度まで)

防潮堤等の整備など、5年間で取り組むべき緊急かつ重要な事業を「5箇年計画(平成25年度~30年度)」に位置づけ、計画的・重点的に実施します。

淡路地域の重点整備地区での対策について

☆福良港

◆整備目標

- レベル1津波** 避難を前提に浸水被害を軽減
- レベル2津波** レベル2津波高をレベル1津波高並に低減

◆対策内容

- 湾口防波堤の整備(平成25年度~35年度)**
レベル1津波の津波高が、他地域に比べて著しく高いことや、背後地の土地利用等を考慮すると、防潮堤を高上げて津波を防御することは現実的ではありません。このため、津波高を、湾の入口で低減させる湾口防波堤の整備を実施の可否を含めて検討します。
- 防波堤の越流対策・引波対策(平成25年度~35年度)**
越流対策だけでなく、引波による防波堤基礎部の洗掘を防止するため、引波対策も行います。
- 防潮堤未整備区間の整備、陸間・水門の閉鎖操作の自動化(平成25年度~30年度)**
防潮堤の未整備区間の整備を進め、浸水被害を軽減します。また、陸間・水門の閉鎖操作の自動化により、短時間での確実閉鎖や操作員の安全を確保します。

☆阿万港

◆整備目標

- レベル1津波** 防潮堤・水門で津波の越流を防ぐ
- レベル2津波** 県独自の詳細なシミュレーション等を踏まえ詳細に検討する。

◆対策内容

- 本庄川水門の整備(平成25年度~35年度)**
本庄川の河口に水門を新設することで、河川への津波遡上を防御します。
- 既存防潮堤の高上げ(平成25年度~35年度)**
既存防潮堤の高上げによりレベル1津波を防御します。
- 陸間の開設(電動化)(平成25年度~35年度)**
防潮堤の開口部(海岸への出入口)に、新たに陸間を設置するとともに、迅速かつ確実に閉鎖するため、電動化します。

☆沼島漁港

◆整備目標

- レベル1津波** 防潮堤等で津波の越流を防ぐ
- レベル2津波** 防波堤等の対策により浸水被害を軽減

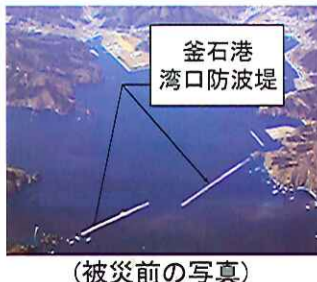
◆対策内容

- 防潮堤整備、陸間自動化、防波堤等の対策(平成25年度~35年度)**
防潮堤の整備を進め、陸間を自動化します。また、防波堤をねばり強い構造へ改良し、港口部の閉鎖について検討を進めます。
- 避難場所・避難路の整備、避難支援施設・監視カメラ(平成25年度~30年度)**
被災時の島内外への避難や緊急物資輸送支援のため、避難場所・避難路の整備(着手済)や、避難支援施設(一部整備済)・監視カメラの整備を進めます。

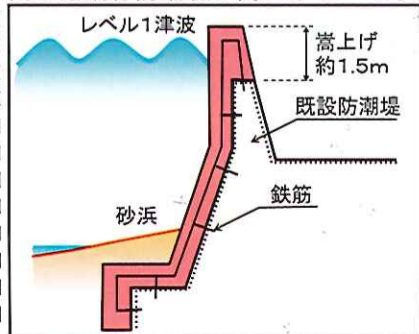
コラム 湾口防波堤(固定式)の効果(岩手県釜石港)

岩手県釜石港の湾口防波堤は、東日本大震災の津波で損壊したものの、津波高の低減や防波堤越流開始時間を遅らせる等の効果がありました。

	津波高	防波堤越流開始時間	津波遡上高
湾口防波堤なし	13.7m	4割	20.2m
湾口防波堤あり	8.1m	低減	10.0m
		28分	6分
		34分	遅延
			5割低減



阿万港既存防潮堤の高上げイメージ図



本庄川水門の整備イメージ図



第2回淡路島景観フォトコンテスト入賞作品の紹介!



最優秀賞「田園」 谷 和樹氏
(撮影場所:南あわじ市阿万、プラザ淡路島へ上る道中)



優秀賞「盛大な見送り」
西橋 弘氏(撮影場所:淡路市岩屋・岩屋港)



優秀賞「六地藏と棚田」
久留米 敏仁氏(撮影場所:淡路市石田地区)

島の宝と言える淡路島らしい魅力ある景観を未来に引き継ぐため、洲本土木事務所では「淡路島景観づくり運動」を推進しています。その取組の一つとして平成24年度に「第2回淡路島景観フォトコンテスト」を開催したところ、190作品のご応募をいただきありがとうございました。今回掲載しております最優秀賞優秀賞の他、審査員特別賞13作品等、詳細については、淡路県民局ホームページをご覧ください。
(第2回淡路島景観フォトコンテスト受賞作品一覧)

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/aw04/keikanphotocon.html>

淡路島景観フォト 検索



優秀賞「阿万の石積み塀」
中島 秀幸氏
(撮影場所:南あわじ市阿万)



優秀賞「ヤマボウシ咲く」
山本 喜一氏
(撮影場所:柏原山展望所付近)



優秀賞「お疲れさま♪」
尾上 恵仁氏
(撮影場所:自宅の畑)

平成24年度洲本土木事務所ニュース

☆安全安心で快適な道路整備を推進

- 1月 (主) 福良江井岩屋線(南あわじ市志知)で交差点改良完成(L=260m)
- 3月 (一) 上内膳塩尾線(洲本市上内膳)で歩道整備事業完成(L=850m)
 - ・(一) 佐野仁井岩屋線(淡路市野島常盤)で道路改良事業完成(L=2,100m)
 - ・(主) 大谷鮎原神代線(洲本市五色町広石下)で道路改良事業暫定完成(L=660m)
 - ・(一) 尾崎志筑線(淡路市王子)で道路改良事業完成(L=80m)※全体L=700m

(一) 上内膳塩尾線 歩道設置工事完成



(一) 佐野仁井岩屋線 道路改良工事完成



(主) 大谷鮎原神代線 道路改良暫定完成



(主) 福良江井岩屋線 志知交差点改良完成



☆治水・防災対策の推進

- 9月 (砂) 岩戸台谷川(洲本市安乎町平安浦)砂防堰堤完成
- ~3月 志筑川床上浸水対策事業...進捗する「志筑川放水路」の工事

(砂) 岩戸台谷川 砂防堰堤完成



工事が進む志筑川放水路



☆淡路サイクリストロードづくりの推進

- 10~3月 サイクリストロード案内標識等の設置工事が進む。



☆地震・津波ハード・ソフト対策の展開

- 9月 「福良うずまるフェスタ」の開催
- 3月 福良港 浮棧橋改修工事完了



福良うずまるフェスタ



福良港 浮棧橋完成

☆県立都市公園の整備と利活用の推進

- 4月 淡路島公園 「木の遊び場リニューアルオープンイベント」の開催
- 5月 淡路島公園 「春の楽しもう祭り」の開催
- 5月 佐野運動公園 「健康ウォーキング教室」の開催
- 10月 淡路島公園 「秋の楽しもう祭り」の開催
- 11月 佐野運動公園 「スロージョギング教室」の開催



木の遊び場リニューアルイベント



健康ウォーキング教室

☆淡路島の景観づくり運動の推進

- 11月 「第2回淡路島景観フォトコンテスト」最優秀賞ほか決定
- 12~2月 「景観緑花市民講座」(全5回)の開催
- 2月 「淡路島百景」の選定
- 3月 「淡路島景観緑花交流フォーラム」の開催

☆その他

- 9月 洲本川で「第2回洲本川レガッタ」の開催
- 3月 「第1回洲本川ウォーク」の開催(予定)



景観緑花市民講座



第2回洲本川レガッタ